

昔に比べ、日本人の食生活は豊かになり、体格も良くなりました。このようにさせたのは心です。豊かになろうとする精神です。その結果、確かに食生活は豊かになり、平均寿命も延びました。しかし、精神もそれに比例して向上したかといえは疑問です。むしろ生き生きとしたかといいたのは、目的を持ち努力して来たところの方ではないでしょうか。

日蓮大聖人御妙判
蔵の財たからよりも身の財身をす
ぐれたり。
身の財身をよりも心の財心を
第一なり。
すしゅんてんのうごしょ
崇峻天皇御書

「登り詰めれば後は下るだけ」といいますが、今の日本は、個人も家族も国も、この危機をはらんでいっていると思えます。お釈迦様は「私たちの心身は煩惱に覆われている」と仰せになりました。煩惱とは「できるだけ良いもの食べたい、着たい。人と争ってでも自分の欲望を満足したい」等です。でも欲望があるから私たちの生活が向上するのも事実です。やっかいなのは登り詰めて向上心が無くなることか、さらに節度を越えた欲望を求めるとか、さらに節度の減退は経済を低下させ、過ぎると社会の安定を損ないます。反対にあくなく欲望は様々な犯罪を生み出します。お釈迦様は「昼夜常精進」とも「少欲知足」とも仰せになっています。この二つの言葉を並べると前者は「自分と他の為を努力せよ」、後者は「自己の欲求を控えるに努めて満足することが世の中を安定させる」ということです。

「煩惱・精進」その中心は心です。日蓮聖人のお言葉「蔵の財よりも身の財すぐれたり。身の財よりも心の財第一なり」は現代社会への警鐘だと思えます。

今年一年の出来事を振り返ってみますと実に宗教組織間での対立が表沙汰になった一年であったように思います。中でもオランダで起こったイスラム教祖ムハンマドの風刺画事件「ムハンマドをマンガに描き、イスラム世界に吹き荒れている自爆テロなど狂信的なテロ活動を風刺し批判した事件」ではそれに反発するイスラム教徒の暴動を引き起こし、またローマ法王ベネディクト16世が、信者を前にした定例の集会で、イスラム教の「ジハード(聖戦)」を批判すると新たにイスラム世界の暴動を引き起こし、最終的に謝罪を求められる事態にまで発展したことはまさに宗教間の対立である。一方でイラクでの自爆テロ事件が連日報道され、解決の目途がたたない。また我が国に於いても靖国神社の問題が起ころって居り、今世界中でそれぞれの宗教に対する理解が求められているように思われる。同時に自分達が信仰する宗教についての再認識が求められているように思うのである。

宗教間の争いにメスを！
観富山龍華寺住職
小倉弘運



第33号

発行所
龍華寺
静岡市清水区
村松2085番
編集 小倉弘運

お知らせ

樗牛館にて、当山重宝物並びに東海道五十三次浮世絵、中国陶磁器等を展示中！
二月十三日、朝九時より当山修徒小倉規敬上人の帰山式！

平成19年度
【節分会】研修旅行のお知らせ

平成十九年二月三日
龍華寺駐車場に朝七時まで
一万円【祈祷料・昼食込み】
(参加される方はお寺にTel34-2858まで)
駐車場七時出発～東名高速～中山法華経寺～
荒行堂【小倉規敬上人と面会】～昼食～池上本門寺
東名高速～帰宅

11月1日より荒行を行っている
当山修徒の小倉規敬上人との限られた
時間だけの面会が許されますので御参加の
程をどうぞ宜しく御願ひします

日蓮宗荒行堂
成満会
小倉規敬上人
参拝の御案内

合掌
十一月一日より、中山法華経寺内、日蓮宗大荒行堂で荒行を行っている当山修徒の小倉規敬上人が百日間の結界修行を終えて、二月十日の早朝に娑婆の世界に出て参ります。つきましては、バス一台で法華経寺に行き、皆で迎えに行つてあげたいと思ひますので御参加頂ける方はどうぞ宜しく御願ひします。
再拜

- 一、日時 平成十九年二月十日【土曜日】
- 一、予定 出発：深夜0時
成満：朝5時頃
昼食：「葉又近辺で規敬上人を迎えて乾杯 食事を楽しみたいと思ひます」
- 帰宅：午後3時頃の予定
- 一、参加費 一万円 【バス代・昼食代】
- 一、持ち物 お数珠・肩掛・行衣・防寒具
- 一、「成満祈念」のぼり旗を注文してくださる方が御座いますら龍華寺まで御願ひします



平成十八年度 龍華寺年間行事報告

二月三日 節分会参拝



毎年恒例になって居ります。2月3日の荒行堂での祈願並び池上本門寺で行われる節分会への檀参で御座います。本年は千葉県市川市中山近辺の寺院の檀参のみにさせて頂きました。

中山法華経寺に到着後まずはじめに中山法華経寺内の日蓮宗大荒行堂で、加行僧の皆様による御祈願を受け、その後法華経寺内で昼食をとった後に、中山奥の院様に参拝し、節分会に参加させて頂きました。節分会ではテレビでおなじみの美輪明宏氏のトークの後に、今年ロシア出身の力士として御活躍された把瑠都関等が投げる豆を拾って、今年一年福を集めました。その後再び法華経寺の節分会に参加させて頂き、デイズ二イイクスピアリによって清水へと帰宅いたしました。



▲三輪明宏氏と記念写真



▲平成十六年の節分会の研修旅行 現 安部首相と記念撮影

二月十五日 釈尊涅槃会供養

今年も涅槃図を公開し、涅槃図の作者 日下文先生が直接説明し多くの見物客にお越し頂きました。



四月八日 釈尊降誕会

お釈迦様が御生誕になられた4月8日、役員の方々と灌仏会を厳修し、甘茶をふるまいました。



六月十六日 檀信徒研修旅行

東京谷中に清水十三ヶ寺合同で参りました。谷中の感翁寺・浄延院・瑞輪寺への参拝の後、浅草・都庁に参りました。



八月十七日 施餓鬼

本年は森田哲慈上人による高座説教の後に皆で法要、無縁仏に供養し先祖に回向しました。



八月二十五日 真夏の寺コンサート

前々よりの皆様の御要望にお応えし指定文化財に指定されているかやぶき本堂前でジャズバンド「SQUEEZE」並びに民族太鼓の演奏がされた。券はすぐに完売し真夏らしく「うちわ」を片手に、またお寺らしく二部からは、蠟燭の灯明だけで演奏が行われました。また、演奏を聴くと同時に茶道宗偏流水地区の皆様より抹茶が振る舞われた。好評であった為、また来年開催予定です。その際にはお誘い合わせのうえお越しください。



戦没者慰霊法要

故 吉野弘造氏 扶桑院治安日弘居士位 追善囲碁大会



茶道宗偏流水会

今年はいろいろな行事がありました

11月8日御会式もご協力いただきました。

仏経豆知識

卒塔婆

お釈迦様が亡くなって御遺骨を葬った時、その上に塔を造ったのがお塔婆のはじまりで、時代を経て、今日お墓に建てる板塔婆になったのであります。

お塔婆は宇宙万物の根源である空、風、火、水、地の五輪をあらわすと同時に仏様のお姿を象徴して居ります。

また、お塔婆に施主の名を書き表すのは「おかげ様で私たちが無事に暮らして居ります。どうかあなたも仏の境涯に安住してください」と、亡き人に寄せる感謝と願いの心持ちをあらわすためであり、この施主のまごころは遠いご先祖にも喜ばれ、また施主自身の罪障を消滅し、福德を招くものになるのであります。故人の冥福を祈り、その追善供養の為に建てるお塔婆ですから、年忌法要の時や祥月命日等お寺では随時承って居ります。形の大小にとられず、まごころをもってお塔婆を建て功徳を積むようにしましょう。

一食一円 アシスト募金 奉納者

- 万世町 稲名嘉男様
銀座 後藤清江様
日立町 渡辺美智枝様
妙音寺 大瀧敏郎様
迎山町 酒井邦夫様
神田町 小林久馬様
神田町 西山君子様
宮加三 白井キク様
入江南町 府川みつる様
川原町 武者りわ様
緑ヶ丘 渡辺洋子様
港町 山本清様
北脇新田 伏見きく様
永楽町 望月君子様
船原町 辻昌久様
村松 江部佐智子
宮加三 高石知
桜橋 渡井久雄
村松 大瀧富治夫

その他無記名4名有難う御座いました

異体同心

～新しい情報～

- 万世町 白土寿恵
高橋 森川温子

宜しく御願います

新役員を紹介

Table with 2 columns: Position (e.g., 代表役員, 責任役員) and Name (e.g., 龍華寺 小倉弘運, 万世町 稲名嘉男)

宜しく御願います